
水溜まりに映った世界

倅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

水溜まりに映った世界

【Nコード】

N9892B

【作者名】

倅

【あらすじ】

作者自身が雨上がりに感じた、水溜まりに映った世界

（前書き）

久々でしかも短いです（汗）

雨上がりのアスファルトの凹んだ所に水溜まりが出来た。車がスピードを出して走ったり或いは人がそこに足を踏み入れただけで、濁った水を飛び散らすそれは人にはあまり好かれていない。水さえ飛ばさなければ誰も見向きもしないだろう。

でも私は水溜まりを見つめていた。

ぼくとしながら『水溜まりに映った世界』を見つめていたら、以外と好きかもしれない自分に気がつく。普段から見慣れた景色も、水溜まりに映して逆さまに見てみるとなんだか別の景色みたいで、向こう側からまったく同じ顔がちょつと間抜けな表情で覗き込んできたら、面白そう。

そいつに向かって私はあっかんべうをしてやると、そいつもきつとあっかんべうをするんだ。

小さい頃みたアニメとかで『あべこべの世界』を取り上げた話があったけど、本当に自分と正反対の自分が居そうな気さえする。

向こうの世界の自分もこうやって水溜まりに映った世界を見てるのかなとか、

きつと向こうの私は素直で可愛くてみんなの人気者なのかなとか、今の私みたいに嫌な事があって凹んでるのかなとかそんな思いにふけてみる。

現実に戻るとそんな都合のいい自分はいなかったりするんだけど、そんな想像をしたせいかちょっぴり心は晴れている。

水溜まりに映った空が晴れてるから心も晴れたのかな？理由なんてわかんないけどとりあえず空が青いから、歩く度に目に映る『水溜

まりに映った世界』を眺めてみることにした。

きっとみんなはこの景色を知らないから私だけ独り占めして、向こうの自分に思いを巡らせてみよう。

そうしたら二人同時に壁にぶつかって、尻餅ついて恥ずかしそうに笑ったりして。

そうしたら嫌な事なんて吹っ飛んでまた元気になれると思うから。

そうしたら私の中で一番の笑顔で向こう側にピースをしてあげよう。きっと同じようにピースしてくれるから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9892b/>

水溜まりに映った世界

2010年11月14日09時38分発行